



TOSTEM株式会社

ブロードステージ (フルフラットタイプ用 先付けブラケット) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

※本体落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 当製品は木造躯体に取付ける構造になっています。取付け前に必ず躯体条件を確認してください。(P.3 参照)
- 躯体への補強が必要になりますので、先付けブラケットは外壁下地工事前に躯体に取付けてください。
- ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- 必ず指定の取付けねじ・ボルト類で固定してください。

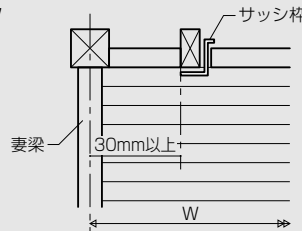
▲注意

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- ※サッシ枠とブラケットが干渉しますので、下記事項を守ってサッシの取付け位置を決めてください。

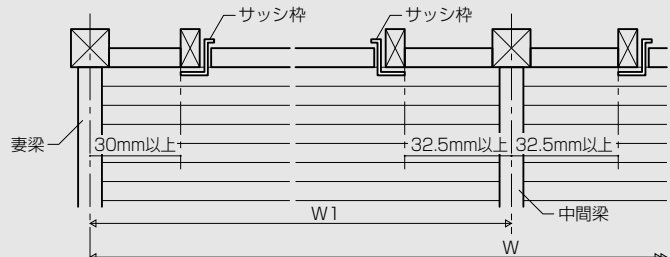
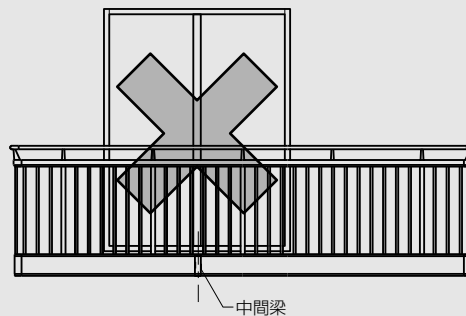
【単体の場合】

- バルコニーのモジュール芯から30mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。



【連棟の場合】

- バルコニーの連棟部をまたぐようにサッシを取付けることはできません。
- 妻梁によせてサッシを取付ける場合、バルコニーモジュール芯から30mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。
- 中間梁によせてサッシを取付ける場合、バルコニーモジュール芯から左右32.5mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。

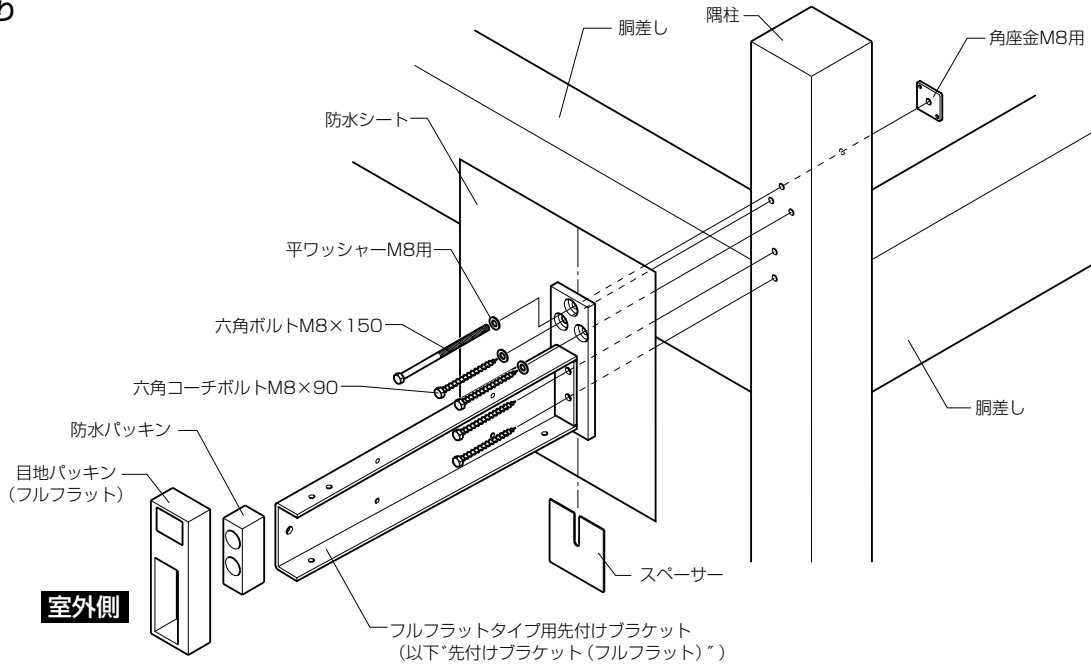


■取付け上へのお願い

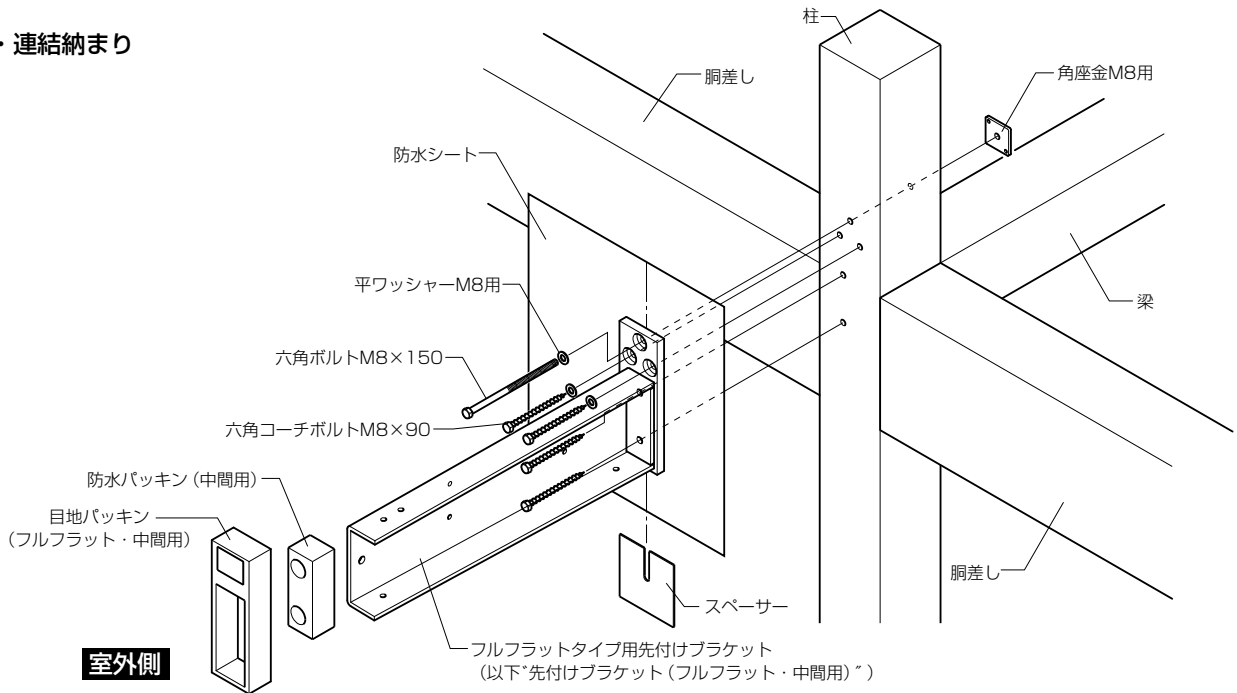
- 本製品はフルフラットタイプ専用です。標準タイプには使用できません。
- フルフラットタイプには柱芯納まりのみ対応です。胴差し納まりには対応していません。
- 事前にバルコニー取付け位置および先付けブラケット取付け位置について、十分な打合せを行ってください。
- 先付けブラケットは、足場として使用しないでください。
- 外壁工事の際、先付けブラケットにモルタルなどが付着しないようにしてください。

■構造説明図

■柱芯納まり



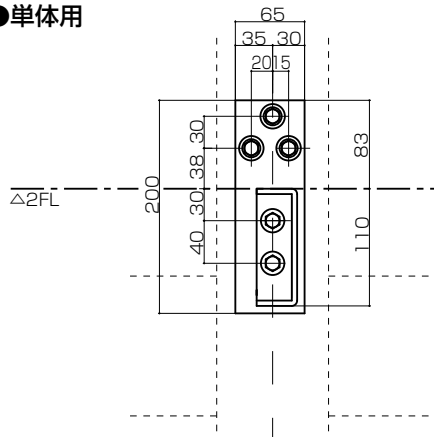
■柱芯・連結納まり



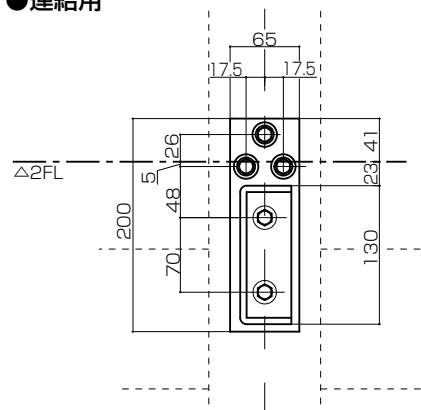
■先付けブラケット取付け位置

※フルフラットタイプは柱芯納まりのみ対応です。

●単体用

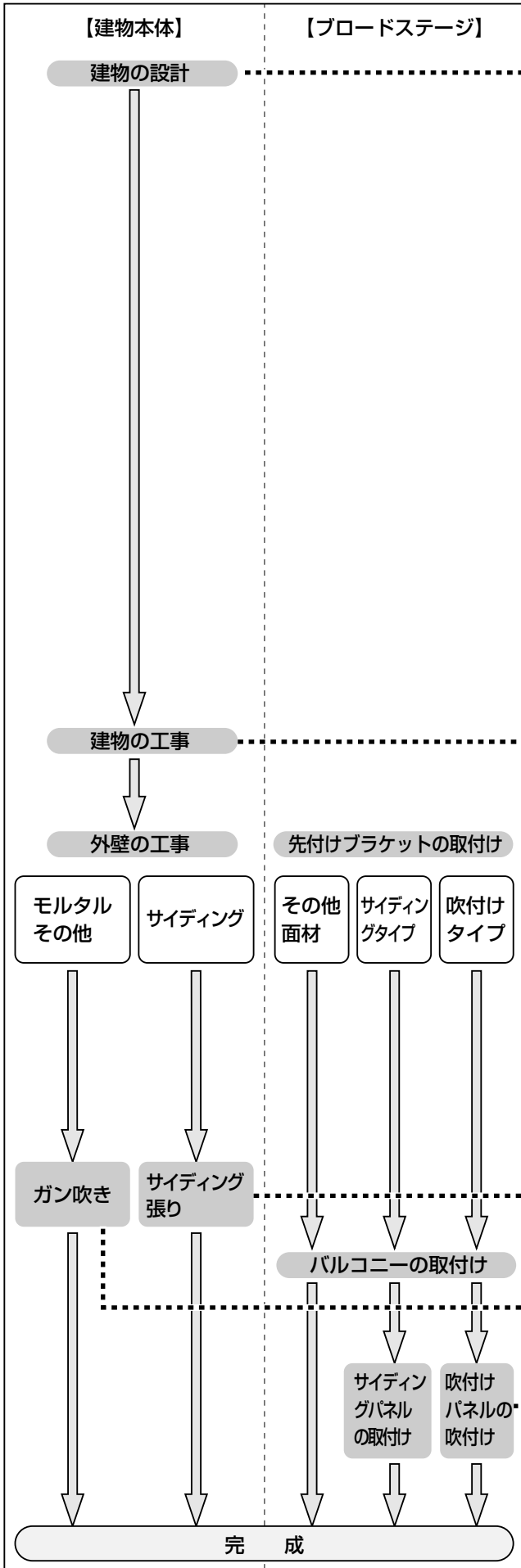


●連結用



■施工工程

■確認事項



■図面打合せ・現場調査

- 1 躯体構造の確認**
※躯体が木造であることを確認してください。
- 2 建物外壁の確認**
※外壁厚12~50mmまで対応できます。
- 3 先付けブラケットの納まり検討**
※先付けブラケット取付け部の納まりを確認してから、ブラケットを選択してください。

躯体構造	フルフラットタイプ用先付けブラケット	
	柱芯納まり	胴差し納まり
在来工法	○	×
2×4工法	×	×

- 4 躯体補強の打合わせ**
※詳細は躯体補強の項目P.4を参照してください。
- 5 躯体条件の確認**
※必ず下記の躯体条件を確認してください。

- 連結タイプの場合、中間梁取付け部には、必ず間仕切り壁用の柱および2階床梁がくるようにしてください。

The diagram shows two cross-sections of a beam with a bracket. The left one shows a correct installation with a vertical post (間仕切り) behind the bracket's connection point (連結部). The right one shows an incorrect installation where the post is not behind the connection point, marked with a large 'X'.

- 通気工法の場合、バルコニー固定部通気層には、下地材を入れてください。
※取付け位置詳細は下地材取付け位置図P.7を参照してください。

- 6 バルコニー面材種類の確認**
(吹付けタイプ・サイディングタイプ・その他面材)

■取付け前の打合せ

- 1 取付け時期**
 - 先付けブラケットの取付け時期
 - バルコニーの取付け時期
- ①足場の取付け依頼
- ②躯体施工の依頼
- ③ブラケット取付け部・躯体補強の依頼
※詳細は躯体補強の項目P.4を参照してください。

- バルコニー面材の取付け時期
※工務店様と打合せの上、バルコニーに張るサイディングを手配してください。

- ※工務店様と打合せの上、吹付けパネルへの吹付けを依頼してください。

- 2 バルコニーの取付け位置**
※事前に床伏図などでバルコニー取付け位置および先付けブラケット取付け位置について十分な打合せを行ってください。先付けブラケット取付け位置を間違ると、大きな段差ができてしまいます。

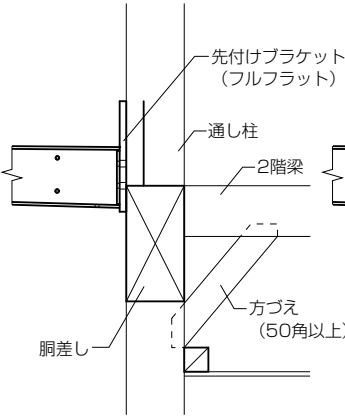
■躯体の補強（在来工法）

■柱芯納まり

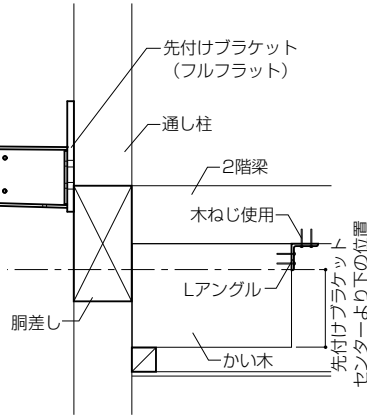
●在来工法の躯体に先付けブラケット（柱芯用）を取付ける場合は、下図を参考に必ず柱を補強してください。

【通し柱の場合の補強】

●方づえ使用

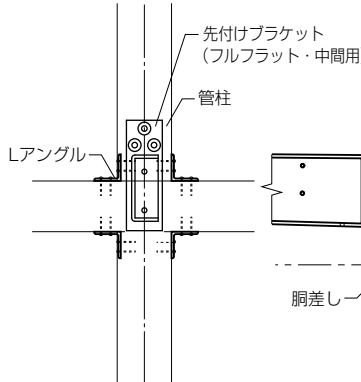


●かい木使用

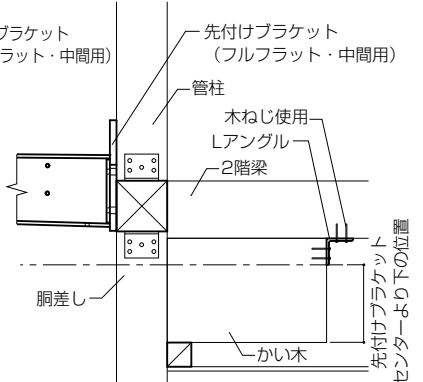


【管柱の場合の補強】

●正面図



●横断面図



■取付け順序

1 先付けブラケット取付け位置の決め方

●外壁仕上げ後は、取付け位置の変更ができません。

右図にしたがって正確な位置を決めてください。

※P.8の納まり図を参照してください。

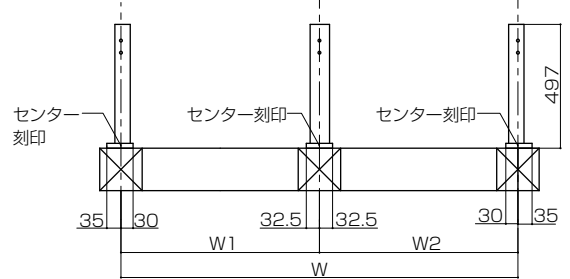
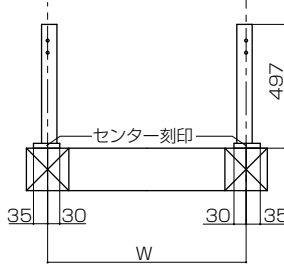
(単位：mm)

長さ	L (製品寸法)				
	関東間	関西間	九州四国間	メーターモジュール	
単体	1.0間	1820	2035	1910	2000
	1.5間	2730	2990	2865	3000
	2.0間	3640	3945	3820	4000
連棟	2.5間	4550	5025	4775	5000
	3.0間	5460	5980	5730	6000
	3.5間	6370	6935	6685	7000
	4.0間	7280	7890	7640	8000

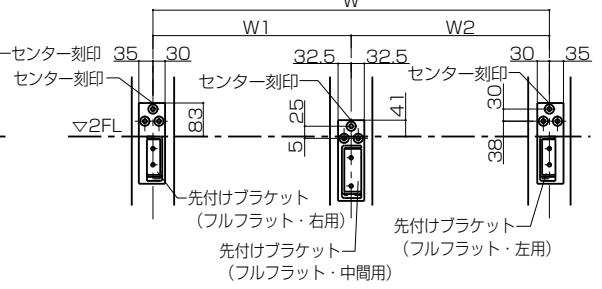
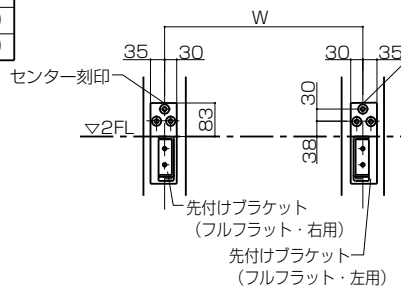
出幅	D寸法
2尺	585
3尺	885

■ブラケット位置（単体納まり）

●間口方向



●高さ方向



2 先付けブラケットの取付け（在来工法）

■ブラケットとサッシ周りの防水方法

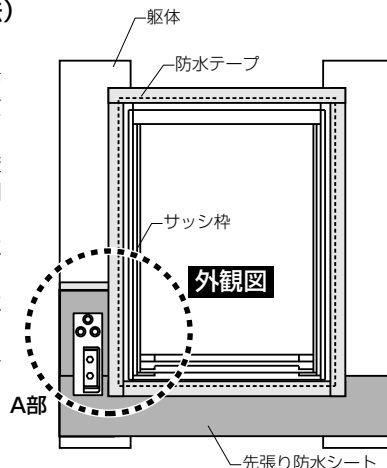
※サッシ枠（屋外側）の釘打ちフィン部分の防水処理後に先付けブラケットを取付けてください。

※先付けブラケット取付け部にすでに外壁の透湿防水シートが施工されている場合は、同梱の防水シートは使用しないでください。

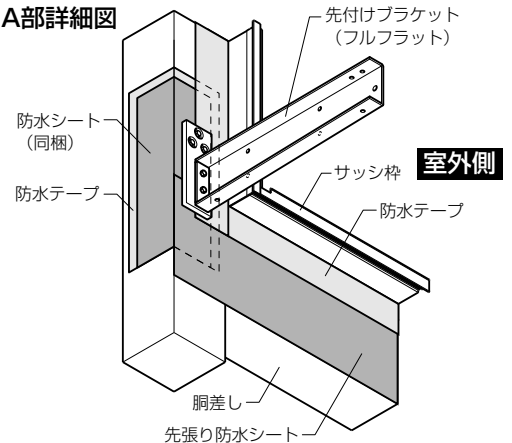
①防水シート（同梱）をサッシ枠の先張り防水シートの下に差込みます。

②先付けブラケットを、サッシ枠の先張り防水シートの上から固定します。

※先付けブラケットを取付ける際は、施工済みの透湿防水シートにシワをよせたり破いたりしないようにしてください。



■A部詳細図

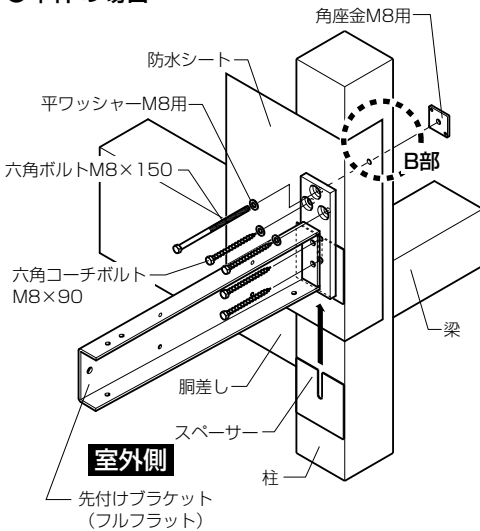


※外壁の透湿防水シートを後から施工する場合は、左右・下ともに100~150mm程度の重ねができるようにしてください。

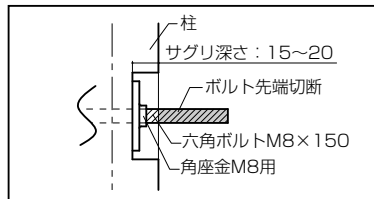
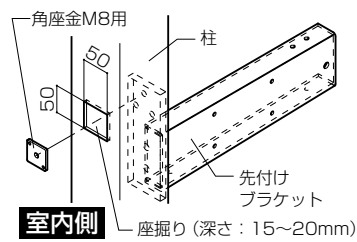
■先付けブラケットの固定

- ①先付けブラケット取付け位置を墨出しし、六角ボルトM8×150で固定します。
※ボルト先端が柱から突出することによる障害がある場合、貫通をとる裏側に座掘り(50×50:座掘り深さ15~20)を行い、ボルト先端を切断してください。
- ②先付けブラケットに合わせて残りの下穴(φ6.5/深さ50mm)をあけ、六角コーチボルトM8×90で固定します。
※スペーサーはレベル調整に使用してください。
※先付けブラケット(フルフラット)は内視視です。左右を間違えないよう確認してください。ただし、先付けブラケット(フルフラット・中間用)に左右はありません。

●単体の場合



■B部 角座金の取付け詳細図 (後ろに障害物がある場合)



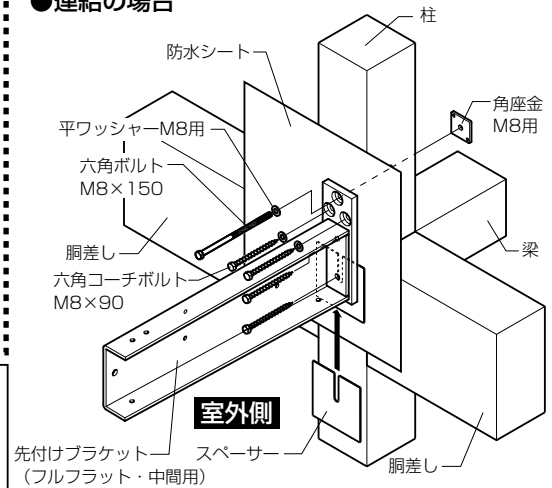
▲ 警告

●ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●下穴ドリル径一覧

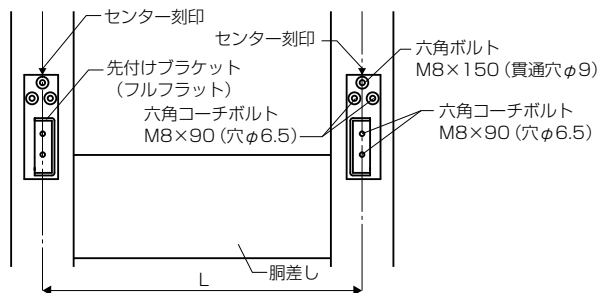
六角ボルトM8×150	貫通穴φ9
六角コーチボルトM8×90	穴φ6.5(深さ50mm以下)

●連結の場合

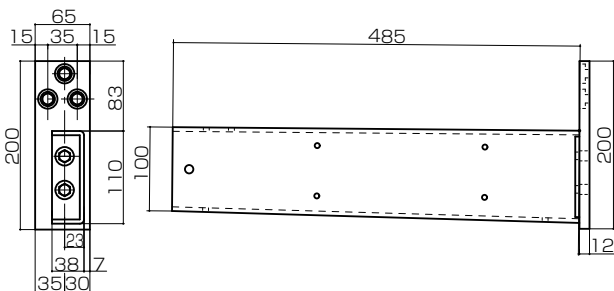


■柱芯納まり

●単体

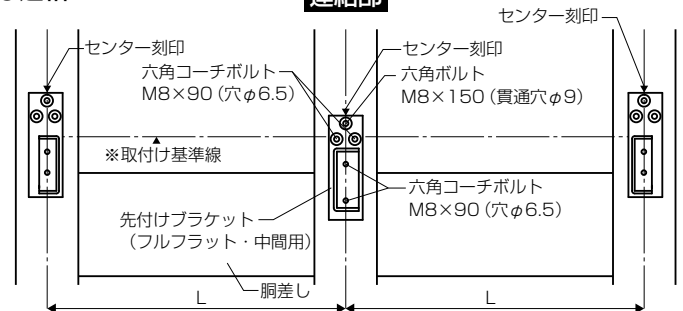


【先付けブラケット(フルフラット)】

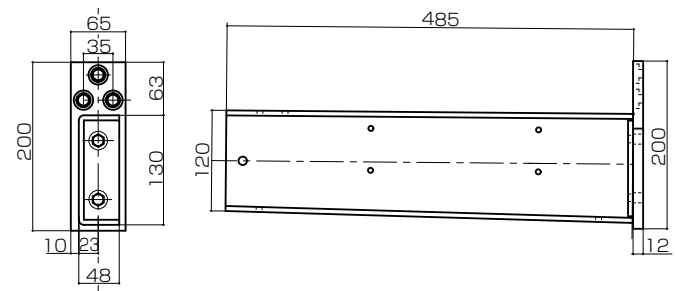


●連結

連結部

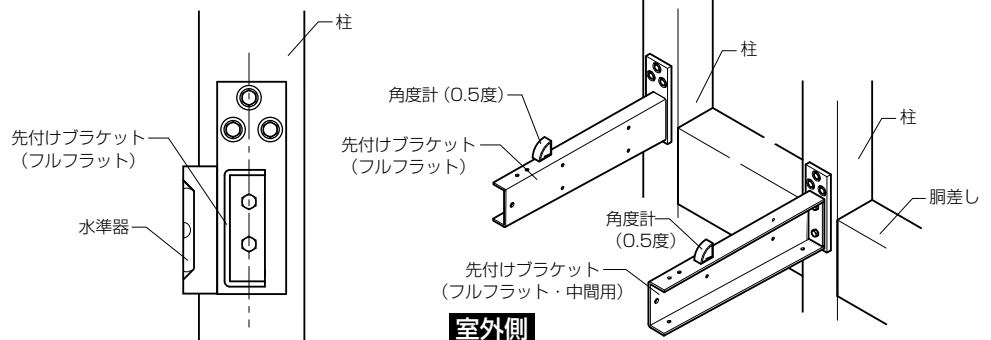


【先付けブラケット(フルフラット・中間用)】



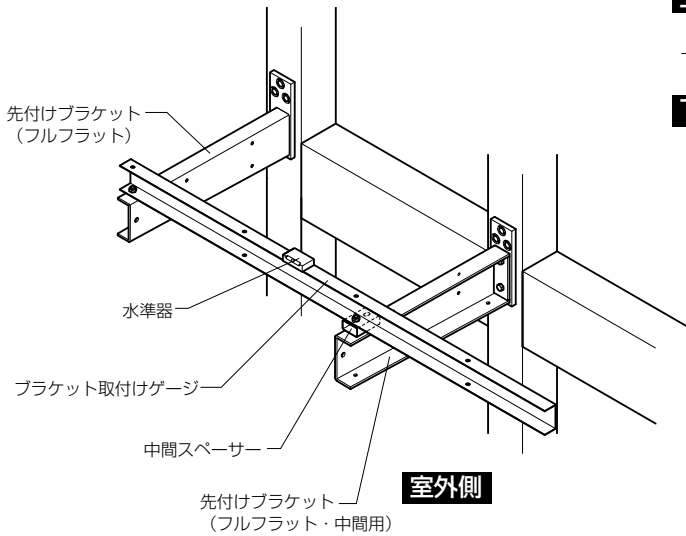
■レベル調整

※先付けブラケットは、先端が5mm上向きに製作されています。取付けの際に、角度測定器などで先端が5mm(0.5度)上向きになるよう調節してください。

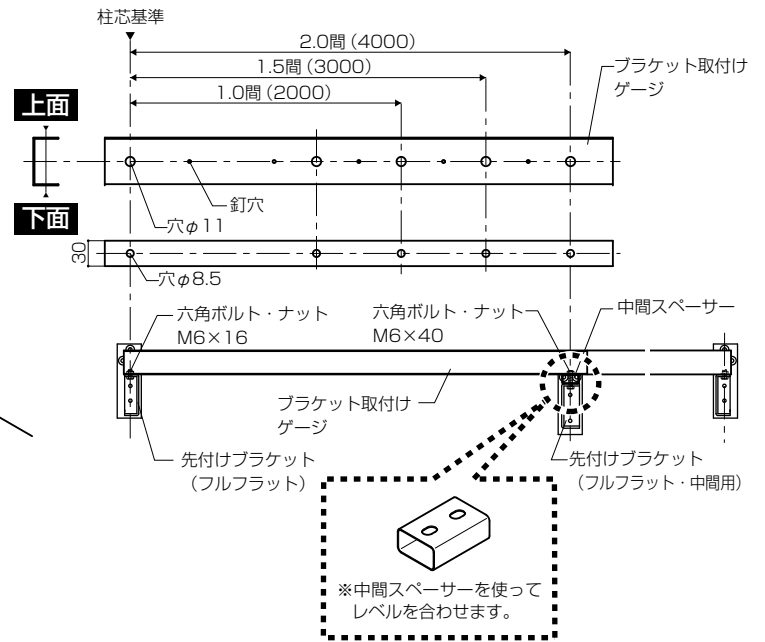


③ 先付けブラケットとブラケット取付けゲージの固定

- 先付けブラケットの水平・垂直を正しく保つため、下図の要領でブラケット取付けゲージを取付けます。
- ※ブラケット取付けゲージは、外壁仕上げが完了するまで取外さないでください。



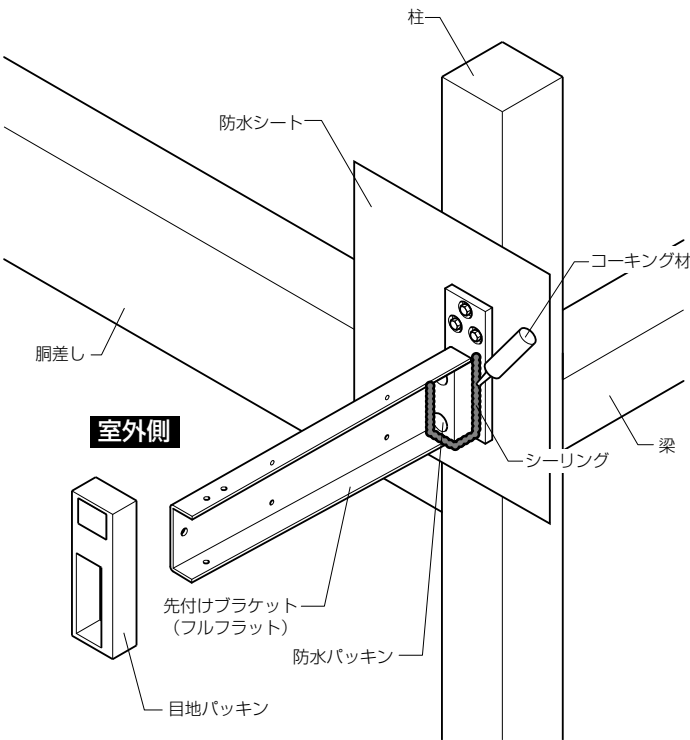
■柱芯納まり



④ 防水パッキン・目地パッキンの取付け

■外壁仕上げ前

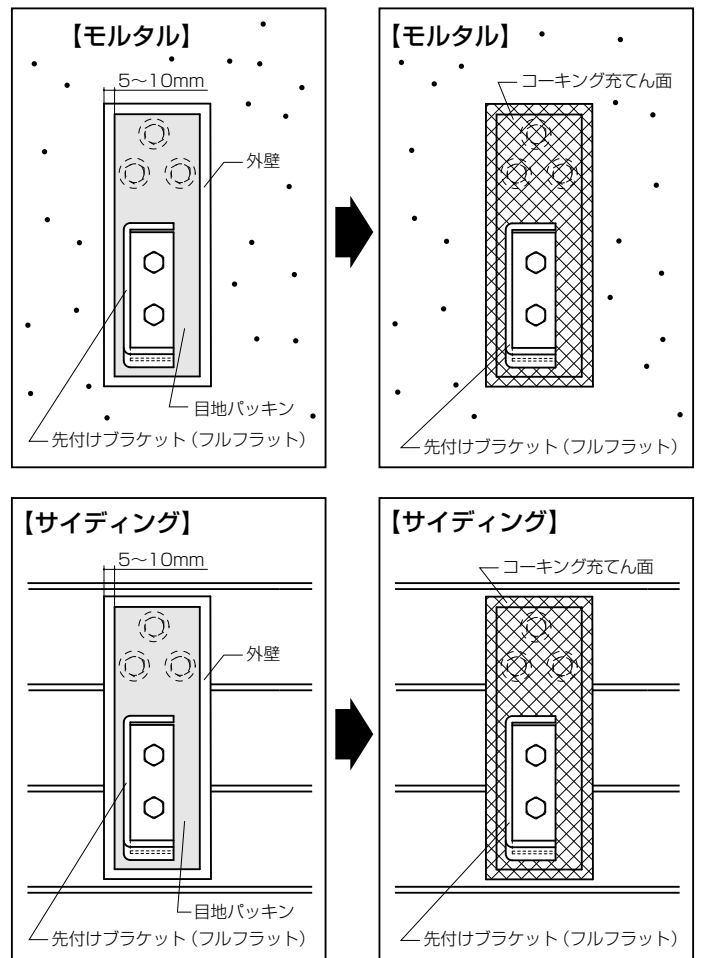
- ①防水パッキンにコーキング材を塗布し、接着します。
※先付けブラケットとの間にすき間がある場合は、コーキング材を充てんしてください。
- ②目地パッキンを先付けブラケットの根元までスライドさせます。



■外壁仕上げ後

- 目地パッキンを取除いた後、先付けブラケットの周囲に外壁と同面になるようコーキング材を充てんします。
- ※シーリングをするときは、必ずプライマーを塗布し、一成分形変成シリコン系の低モジュラスタイプのものをお使いください。
- ※先付けブラケット背板と外壁のコーキング材スペースを5~10mmとるよう、工務店様と打合せをしてください。

■柱芯納まり



▲ 注意

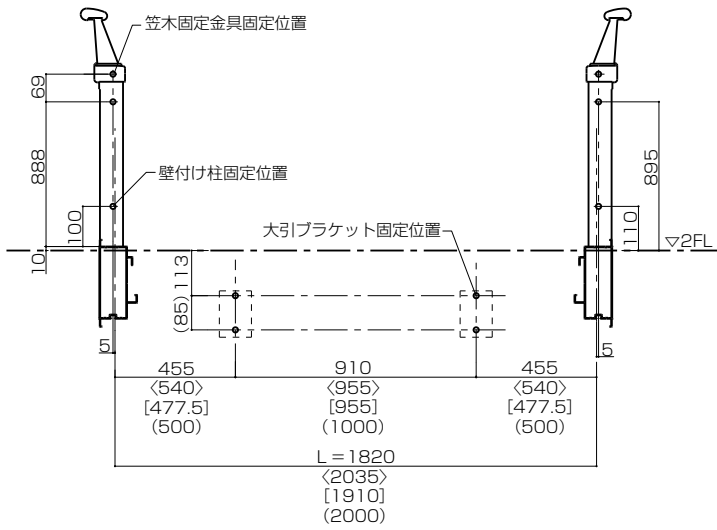
- シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。

■下地材取付け位置図

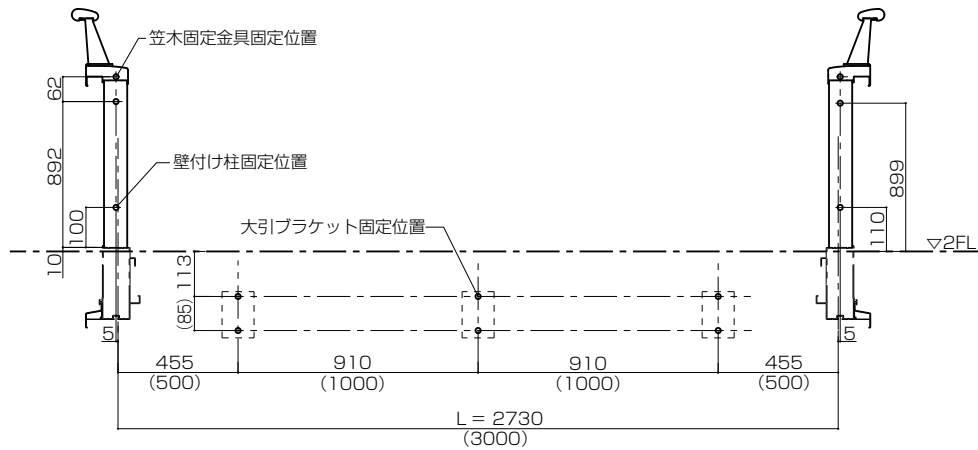
※< >内寸法は関西間、〔 〕内寸法は九州・四国間、()内寸法はメーターモジュールを示します。

■柱芯タイプ

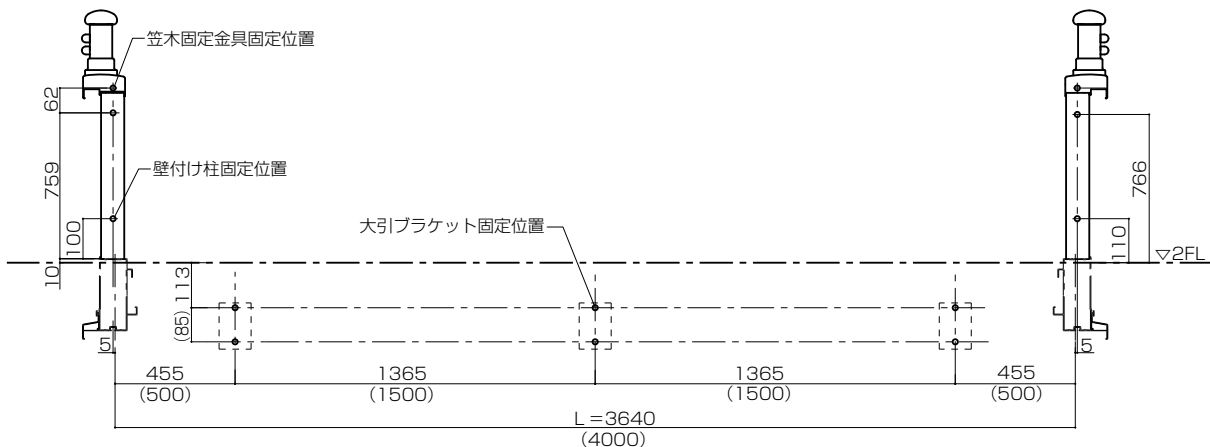
●1.0間【ブロードステージA型】



●1.5間【ブロードステージB型】



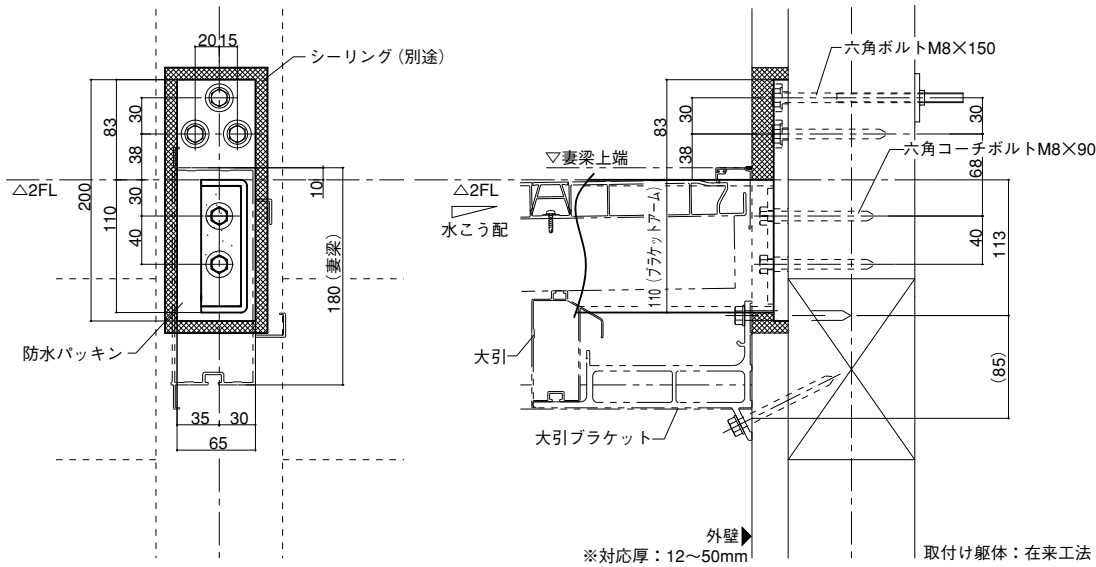
●2.0間【ブロードステージC型】



■納まり図

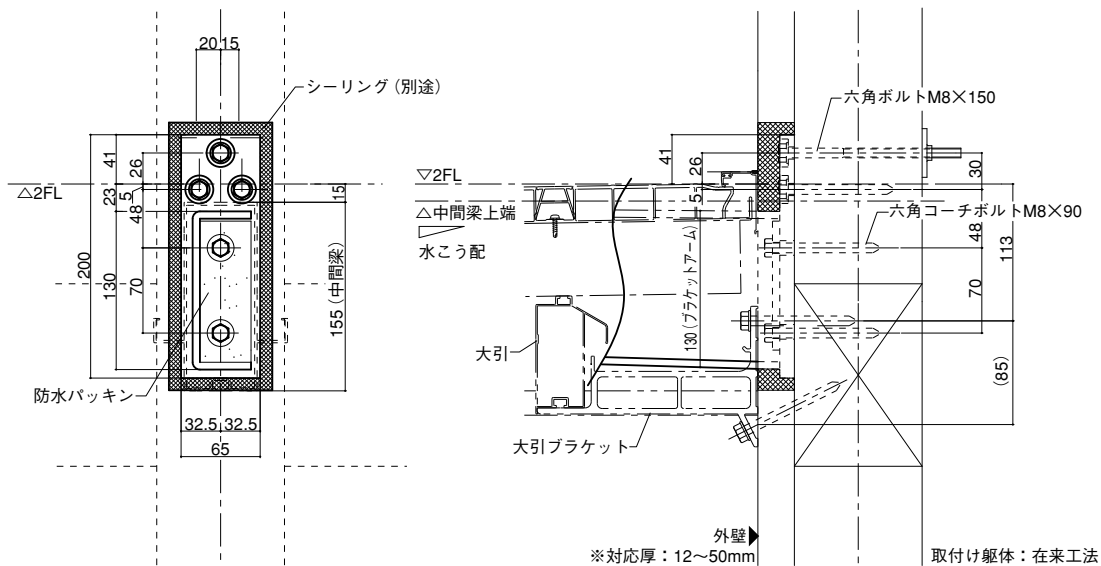
■単体用

- 取付け躯体：在来工法
- 外壁：モルタル吹付け



■連棟用

- 取付け躯体：在来工法
- 外壁：モルタル吹付け



■梱包明細表

●先付けブラケットセット (フルフラット)

名称	員数		
	左用	右用	中間用
先付けブラケット (フルフラット・左用)	1		
先付けブラケット (フルフラット・右用)		1	
先付けブラケット (フルフラット・中間用)			1
角座金M8用	1	1	1
スペーサー	1	1	1
目地パッキン (フルフラット・左用)	1		
目地パッキン (フルフラット・右用)		1	
目地パッキン (フルフラット・中間用)			1

名称	員数		
	左用	右用	中間用
防水パッキン	1	1	
防水パッキン (連棟用)			1
防水シート	1	1	1
六角ボルトM8×150	1	1	1
六角コーチボルトM8×90	4	4	4
平ワッシャーM8用	3	3	3
取付け説明書 (フルフラット用)	1	1	